

監 第 1 1 号
令和7年9月12日

東秩父村長 高野 貞宜 様

東秩父村監査委員 江原 教一
東秩父村監査委員 吉野 文泰

令和6年度東秩父村公営企業会計決算審査の意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和6年度東秩父村公営企業の事業会計決算及び関係書類を審査した結果について、東秩父村監査委員条例第6条の規定により、次のとおり意見を付して提出します。

【審査の概要】

1 審査の対象

- (1) 令和6年度東秩父村簡易水道事業会計決算
- (2) 令和6年度東秩父村合併処理浄化槽設置管理事業会計決算
- (3) その他付属書類

2 審査を実施した期間

令和7年7月31日から令和7年9月1日まで。

【審査の結果】

審査に付された令和6年度東秩父村公営企業（簡易水道事業及び合併処理浄化槽設置管理事業）決算書、損益計算書、剰余金計算書、貸借対照表、その他付属書類（事業報告書等）、について、諸帳簿及び証拠書類と照合審査し、例月出納検査の結果も考慮して、決算数値は正確であると認めます。

なお、各公営企業会計の決算は、次のとおりです。

1 簡易水道事業会計

(1) 決算の状況

収益的収入及び支出 (単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
事業収益	154,980,000	154,711,742	99.8
事業費用	153,937,000	145,585,729	94.6

資本的収入及び支出 (単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
資本的収入	72,198,000	71,625,000	99.2
資本的支出	95,490,000	88,572,217	92.8

(2) 経営状況

総収益 150,479,484 円（営業収益＋営業外収益＋特別利益）に対し、総費用 139,398,698 円（営業費用＋営業外費用＋特別損失）で、差引き 11,080,786 円の当年度純利益となっています。

(3) 財政状況

資産 1,539,661,787 円に対し、負債 1,164,467,006 円、資本金 307,456,000 円、
剰余金 67,738,781 円です。

① 資産

資産は、固定資産 1,463,297,822 円、流動資産 76,363,965 円で構成されています。

固定資産は、有形固定資産 1,462,257,822 円、無形固定資産(リース資産) 1,040,000
円で構成され、有形固定資産は、土地 2,555,538 円、建物 17,999,408 円、構築物
1,361,453,597 円、機械及び装置 77,864,406 円、車両運搬具 1,645,608 円、工具・
器具及び備品 739,265 円です。

流動資産は、現金預金 61,284,291 円、未収金 12,183,164 円、貯蔵品(量水器)
2,896,510 円で構成されています。

② 負債

負債は、固定負債 144,757,818 円、流動負債 43,176,418 円、繰延収益 976,532,770
円で構成され、固定負債は、企業債 144,717,818 円、リース債務 0 円、営業保証金
40,000 円です。

流動負債は、企業債 12,638,441 円、リース債務 1,040,000 円、未払金 29,497,977
円です。

繰延収益は、長期前受金 3,981,909,812 円、収益化累計額△3,005,377,042 円です。

③ 資本金

資本金は、307,456,000 円です。

④ 剰余金

剰余金は、資本剰余金 26,212,031 円、利益剰余金(当年度純利益) 41,526,750 円
です。

(4) 施設の利用状況

項目	比率 (%)	備考
施設利用率	64.3	1日平均配水量
		1日最大配水能力
最大稼働率	88.6	1日最大配水量
		1日最大配水能力
負荷率	72.5	1日平均配水量
		1日最大配水量

(5) 財政分析比率

項 目	比 率 (%)	備 考
自己資本構成比率	24.4	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延資産}}{\text{総資本 (資本} + \text{負債)}}$
流 動 比 率	176.9	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
現金預金比率	141.9	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}$
減 価 償 却 率	4.6	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末減価償却資産} + \text{当年度減価償却費}}$
經常収支比率	107.9	$\frac{\text{經常収益}}{\text{經常費用}}$
營業収支比率	30.8	$\frac{\text{營業収益}}{\text{營業費用}}$
自己資本比率	24.4	$\frac{\text{資本合計}}{\text{負債合計} + \text{資本合計}}$

2 合併処理浄化槽設置管理事業会計

(1) 決算の状況

収益的収入及び支出 (単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
事業収益	46,007,000	43,880,469	95.4
事業費用	46,007,000	43,109,161	93.7

資本的収入及び支出 (単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
資本的収入	14,683,000	10,967,800	74.7
資本的支出	17,921,000	13,582,192	75.8

(2) 経営状況

総収益 41,935,617 円 (営業収益+営業外収益+特別利益) に対し、総費用 40,982,317 円 (営業費用+営業外費用+特別損失) で、差引き 953,300 円の当年度純利益となりました。

(3) 財政状況

資産 274,751,360 円に対し、負債 210,320,227 円、資本金 42,890,000 円、剰余金 21,541,133 円です。

① 資産

資産は、固定資産 255,967,703 円、流動資産 18,783,657 円で構成されています。

固定資産は、有形固定資産 (構築物) 255,655,703 円、無形固定資産 312,000 円です。

流動資産は、現金預金 12,681,824 円、基金預金 3,724,000 円、未収金 2,377,833 円で構成されています。

② 負債

負債は、固定負債 56,204,701 円、流動負債 11,576,687 円、繰延収益 142,538,839 円で構成され、固定負債は、企業債 56,184,701 円、リース債務 0 円、営業保証金 20,000 円です。

流動負債は、企業債 7,353,157 円、リース債務 312,000 円、未払金 3,911,530 円です。繰延収益は、長期前受金 237,195,403 円、収益化累計額△94,656,564 円です。

③ 資本金

資本金は、42,890,000 円です。

④ 剰余金

剰余金は、資本剰余金 21,518,185 円、利益剰余金（当年度純利益）22,948 円です。

(4) 施設の利用状況

項目	数 値	項目	数 値
行政区域内人口	2,385 人	排水・処理区域内人口	923 人
浄化槽設置基数	368 基	—	—
計画処理能力 (m ³ /日)	544	現在処理能力 (m ³ /日)	532
平均処理水量 (m ³ /日)	532	年間総処理水量 (m ³)	194,180

(5) 財政分析比率

項目	比 率 (%)	備 考
自己資本構成比率	23.5	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延資産}}{\text{総資本 (資本} + \text{負債)}}$
流 動 比 率	166.3	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
現金預金比率	109.5	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}$
減 価 償 却 率	4.9	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末減価償却資産} + \text{当年度減価償却費}}$
経常収支比率	102.3	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$
営業収支比率	50.8	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}}$
自己資本比率	23.5	$\frac{\text{資本合計}}{\text{負債合計} + \text{資本合計}}$

【審査の意見】

1 簡易水道事業会計

簡易事業水道会計については、朝日根地区配水管布設工事を実施また小安戸橋添架架設工事を実施、両地区の老朽管を配水用ポリエチレン管約269m更新した。また藤久保ポンプ場の給水設備を入山浄水場の廃止に向けて、帯沢浄水場から入山地区への水道水の供給の安定化をめざして更新工事を実施した。

水道料金の未収金については、現年度分432件で1,568,932円になります。前年度（470件で1,338,720円）と比較すると38件減少しましたが金額は230,212円増加しました。しかし金融機関の振替手続きの都合によるものが殆どで翌月には回収となりました。

料金回収率は、前年度39.8%で現年度46.2%と増加したものの低水準のため、引き続き料金の妥当性の検討をお願いします。

2 合併処理浄化槽設置管理事業会計

合併処理浄化槽設置管理事業会計については、浄化槽設置費・浄化槽転換費として10人層1基、7人層2基、5人層2基を設置しています。

浄化槽使用料の未収金について現年度分は、4件で78,550円になります。前年度5件で65,505円でした。

一般会計からの補助金である他会計補助金の割合について、前年度に比べて改善はされているものの依然として高いため、浄化槽使用料の妥当性への考慮も必要である。